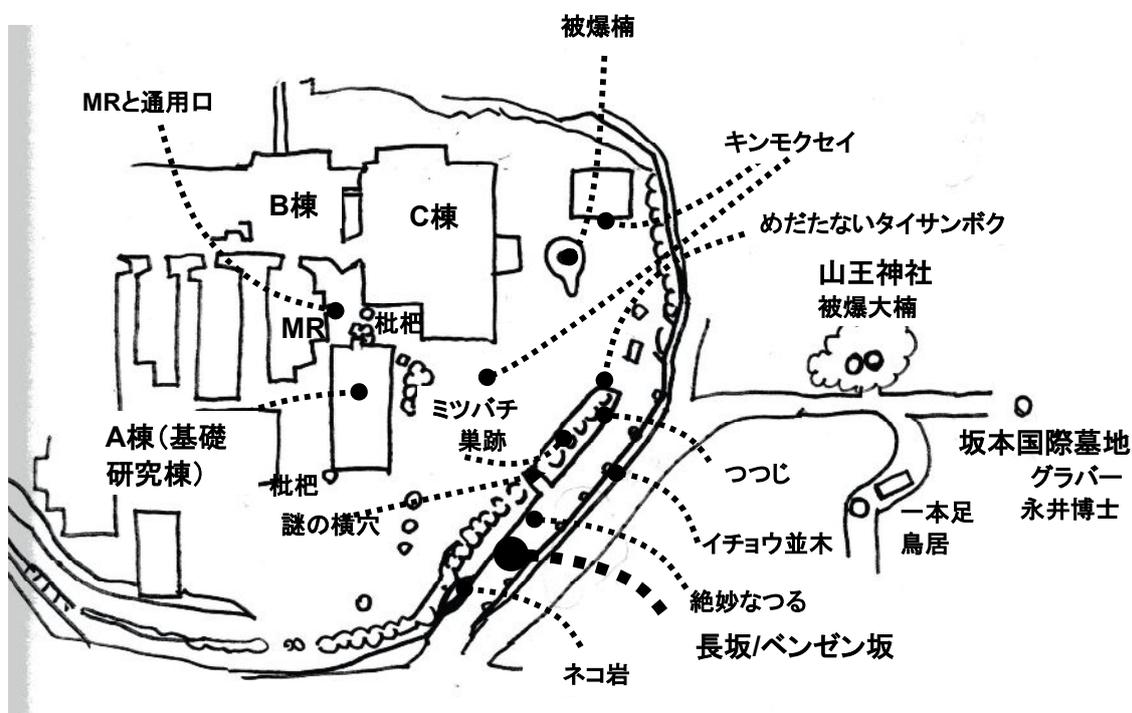


長崎大学歯学部キャンパス散策 2009. 06. 12

歯学部のキャンパス内にも不思議なところ，変な場所があります．歯学部や病院に来ることがあったらぜひ立ち寄ってください．

文責 N 記者

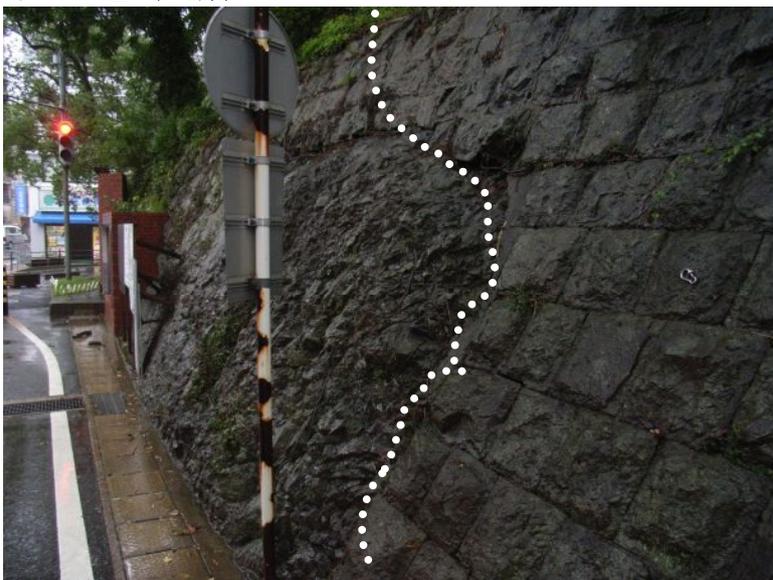
歯学部CAMPUS MAP



- ① 長坂/ベンゼン坂 長くもないこの坂が長坂と呼ばれるのは，たぶん長崎大学の坂だから．以前は長崎医科大学病院が現在の歯学部のところにありそのメインストリートだった．M 教授によれば以前はベンゼン坂と呼ばれていたらしい．敷石がごつごつしてベンゼン環を想起させたからではないか．なんともアカデミック．ただし敷石は6角形ではなく四角形．今では長坂はほぼ歯学部専用となっており，歯学部ではケミストリーを重視していないためか単に長坂と呼ばれている．
- ② ネコ岩 長坂の上り口付近の斜面に岩盤が露出しており，そのふくらみがネコの通る道になっている．ある夜，ネコのカップルが連れ立って坂の上に立った．

彼はスルスルと降りたが、彼女はオロオロするばかり。見かねた彼がサッと駆け戻り、二匹は闇に消えた。そのかつこよかったこと。勝手に彼と思ったが、この時代、実は彼女かもしれない。

ネコの道（点線）



- ③ 絶妙なつる 長坂の中ほどの大きく張り出した楠の枝の決まった位置から毎年夏になるとつる植物が垂れ下がってくる。その伸び方、垂れ下がり方が絶妙で、飛び上がれば届きそう。もうすこし、もうすこしと毎日思っているうちにいつのまにか、ちぎれている。



- ④ 謎の横穴と敷石 長坂の中ほどに大きな横穴がある。上に附属病院があった時代に業者が地下一階に物品を運び入れるための通路だったらしい。現在は、新病棟を建設するために長坂を大型車が通るので、敷石を一時避難させており、その一時保管場所になっている。横穴とともに原爆の証人。



- ⑤ ツツジとイチョウ 長坂の片面にはツツジが咲き誇る。歯学部玄関のロータリーや生協前にも、4月後半～5月前半が見ごろ。長坂の反対側にはチョウセンヒルガオが咲く。イチョウの並木もある。毎年黄葉の時期が遅くなっており最近では年明けになって色づいたり。銀杏（ギンナン）のなる雌株の木もあるので、嵐の過ぎた秋の朝に取りに来てはいいが。

長坂のツツジ



長坂のチョウセンヒルガオ



⑥ **グミ** といえば学生はふによふによしたお菓子を思い浮かべるだろうが、実は甘酸っぱい小さな果実。医学部・歯学部附属病院からさらに坂を上って保健学科に行く途中に立派なグミの木がある。実がたわわになるが、誰も取らない。鳥が種を運んだのだろうか。グミの幼木が長坂にも数本あるのを 2007 年に発見した。あと何年で実がつくのか、ひそかな楽しみ。

⑦ **ムベ** 長坂のフェンスにからみついている蔓性の植物を私はアケビではないかと踏んでいた。ある時産直センターでそれが売られていた。植物に詳しい姉がそれはムベだと教えてくれた。平成 20 年の秋には初めて赤紫の実が二つなったので早速食べてみた。やはりアケビと似た味のような気がするが、何しろアケビを食べたのも遠い昔のことなのでよくわからない。アケビは熟すと二つに割れるがムベは割れないところが違う。





- ⑧ 目立たぬ大輪の白い花： タイサンボク 長坂を登りきったところに、タイサンボクの木がある。梅雨の時期に真っ白な大輪の花を咲かせる。しかし目立たない。花にもまして葉が大きいこと、花の数が少ないこと、散発的に咲くこと、花の位置が高くて、目線に入りにくいことなど悪条件が揃っている。市内では三芳町の県営アパート横の街路樹にもなっているが、やはり花が葉に負けている。

タイサンボクの花



⑨ クマゼミ生息地

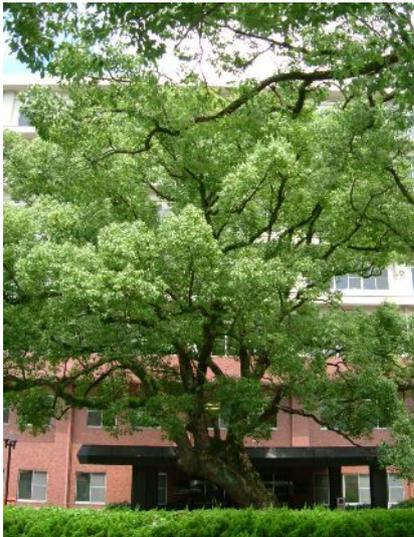
歯学部 CAMPUS も花壇以外はコンクリートに覆われているが、一部に更地がある。このわずかな土地からセミが羽化する。長崎のクマゼミはたくましい。

セミの殻

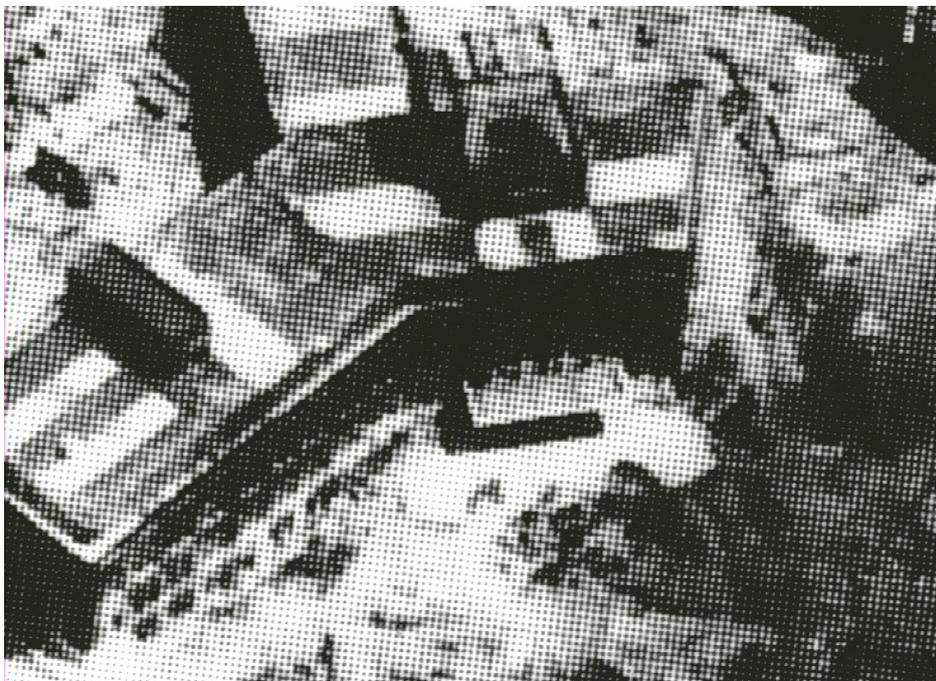


⑩ 被爆楠 歯学部病院玄関前の被爆楠。立派な説明のプレートがあるのでぜひ見てほしい。被爆直後の写真にそれらしい木のようなものが写っている。

現在の被爆楠



被爆直後の長崎医科大学病院 (長崎大学図書館資料)



- ⑪ 一部レンガ張り 歯学部厚生棟と歯学部病院 C 棟 (現医学部・歯学部病院の歯学部 C 棟) は赤茶色の立派なレンガ張りのつくりである。いかにも大学という雰囲気である。しかし惜しむらくはレンガは歯学部の 1-2 階だけで、上にはない。予算不足で建物全体に貼ることはできなかったようだ (二枚前の写真参照)。
- ⑫ 金木犀 (キンモクセイ) 厚生棟 (生協) 前や基礎研究棟前, 医学部病院駐車場横など, いたるところに金木犀の木があるので, 9 月終わりごろの一週間くらいキャンパス内はとても良い香りに包まれる。花卉ひとつひとつはとても小さいのだが, 集まればやるのである。帰宅するときの闇夜のキンモクセイは格別な香り。
- ⑬ 枇杷 (ビワ) 誰かが, 播いたのか, 食べた種を捨てたのか, A 棟 (基礎研究棟) の周りに数本の枇杷の木があり, 2005 年ごろから一部の木に実もなりだした。完熟まで待つべきなのだが, そこまで待っていると誰かに食べられてしまうので, やむを得ず若干早い状態で食べられている。

A 棟非常階段 2 階から見る枇杷の木



- ⑭ **領土侵犯** 今は長崎大学医歯薬学総合研究科に統一したのでどうなっているのかわからないが、以前は医学部と歯学部の間には境界線があった。医学部で磁気共鳴（MR）施設の建物をつくった際に、通用口のステップ（写真の囲み部分）が歯学部側に領土侵犯をした。問題になり、代わりに、歯学部学生や職員も使えるよう MR 建物の前に屋根つきの駐輪場（図の右側）を整備してもらったという。T 名誉教授の話。

MR の建物の通用口と駐輪場



- ⑮ **野生のミツバチの巣（遺跡）** 歯学部患者様駐車場内の木の洞（うろ）にミツバチの巣があった。患者様が誤って刺されては大変なので、かわいそうだが、巣の出入り口をセメントで固めざるを得なかった（2006年）。

ミツバチの巣（穴をふさぐ前） よく見るとミツバチがいる。



歯学部周辺は長崎さるく博のコースにもなっているように見所も多い。すこし足をのばしてみましよう。（別ファイル参照）